

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

身だしなみを整え かっこいい中学生へ!!

みなさんも知っている通り、中学校で義務教育は終了します。つまり、中学卒業時には一人前の社会人（※年齢的に成人ではないですが…）としての資質を備えておく必要があります。知識や教養だけでなく、礼儀や協調性など、勉学以外の要素も含め、様々なことを身につけておかなければなりません。今回は制服の「着こなし」「身だしなみ」について考えてみましょう。

寒くなったせいか、最近、中にきているセーター類が制服のそで口やすそから出ている人を見かけます。また、学生服（学ラン）やボックスコートのボタンがしまっておらず、だらしない状態になってしまっている人を見かけることもあります。

「身だしなみを整える」ということは社会人として当然のマナーです。その理由は「相手に不快感を与える、好印象を与えるため」です。人を見かけだけで判断してはいけませんが、人の内面はある程度の時間を要して、付き合わなければ知ることはできません。第一印象が悪ければ、「この人とはあまり付き合いたくない」と判断され、内面を知ってもらう機会すらないかもしれません。だらしない身だしなみは、人間関係を狭め、自分にとって大きなマイナスに働く可能性があるのです。

一方、さわやかな身だしなみの人は、相手に安心感を与え、一緒にいて落ち着きます。周りから見ると声をかけやすいので、交友関係も広がり、自分にとってもプラスになるでしょう。また、地域の方や一般の方が城南中生を見て、きちんとした身だしなみであれば学校全体の印象もよくなり、様々な場面で応援してもらえると思います。

気づいていない人もいるかもしれません、「身だしなみを整える」ことはみなさんが考へている以上に、自分の人生においてプラスに働くのです。些細なことですが日頃から気を配り、「かっこいい人」になります。そして「規律正しい清楚な城南中」をつくっていきましょう。



年末年始は1年の節目



2025年も最後の月になりました。年末年始は1年の中でも、特にけじめをつけるべきタイミングであります。「けじめをつける」とは「守るべき規範や道徳などに従って、行動や態度を明確にする事」です。ではどのような行動がけじめをつけることにつながるのでしょうか？

まず一つ目は、年末に家庭の大掃除を手伝うことです。普段は忙しくて家庭での仕事はなかなか手伝えない人も多いと思います。日頃から自分を支えてくれる家族に感謝を表す意味でも家庭の仕事を手伝い、家族の一員としての役割を果たしましょう。また自分の部屋やスペースの整理整頓をするのもよいと思います。必要なものをきれいに整頓したり、不要な物を処分したりして、気持ちよく新年がスタートできる環境を整えましょう。

二つ目は、お世話になっている人に年末年始の挨拶をすることです。家族はもちろん、親戚や身近な人に「1年間お世話になりました。」「今年（※年末なら来年）もよろしくお願ひします。」など挨拶をすることが、お世話になっている人に敬意を示すことになります。自分を支えてくれる人のありがたさを再確認することで、自分の行動に責任をもてようになります。

また「新年の抱負」として、新たな年に何を頑張るのかを考えることもよいでしょう。節目に目標をたてることは、自分の成長につながります。2026年を有意義な年にするためにも、目指すものについて考えてみてはどうでしょうか？

冬休みはイベントが多く、普段と違う生活になりますが、学校ではみんなが安全に生活できるよう事前指導を行っています。話をよく聞いてルールやマナーを守り、トラブルや犯罪に巻き込まれないように十分に気を付け、充実した冬休みにしましょう。

～保護者様へ～

年末年始は大変忙しい時期ではありますが、ぜひお子様と過ごす時間をつくっていただきたいと思います。大掃除等の家族の行事で時間を共有しながらコミュニケーションをとっていただくと、お子様も改めて家族の大切さを感じられると思います。